

麻 酔 科

文責：河田 竜一

概 要

(2019年4月～2020年3月)

常勤医6名+非常勤医1-2名体制で診療を行った
 鴛淵孝雄

(山口大学1974年卒、1981年1月より勤務)

大城研司

(山口大学1985年卒、1990年1月より勤務)

河田竜一

(山口大学1989年卒、2006年11月より勤務)、科長
 平山かおり

(弘前大学1993年卒、2005年12月より勤務)

吉田光剛

(山口大学1997年卒、2013年4月より勤務)

彼末行世

(山口大学2011年卒、2016年4月より勤務)

非 常 勤 河野瑠美、奥 朋子、磯嶋 佑、
 脇口治暁、北川文月、福井健彦、
 得津佳道 (敬称略)

臨床研修医 原田佳代子、江種真穂、棟久晃司、
 作田美穂、藤原槇凜子、森田可那子、
 伊達直人、古川昌宏 (敬称略)

診 療

2019年の麻酔科管理手術症例は3065例、例年通り手術室での麻酔に明け暮れた一年であった。「いつでも受けて立つ」という意識で手術申し込みを受けている。ほぼ毎日入る緊急手術をできる限り時間内に施行できるよう、手術予定を臨機応変に組み替えるなど手術室の効率的な運用を行なっている。最近では、手術室看護師の方から積極的に手術室の運用案が出されるようになった。感謝している。

診療科別症例数では大きな変化はなかった。麻酔法では内視鏡手術、術後抗凝固療法の影響でエコーガイド下末梢神経ブロックを併用した麻酔が増え、硬膜外麻酔が減少している。時代と共に麻酔法も確実に変遷している(表参照)。

麻酔科スタッフの変更はなく、高齢化が著しい。山口大学より週に一回～二回の応援を得ながら、乗り切ることができたが、どこの組織でも世代交代は難しい問題である。

臨床研修医の多くが麻酔科をローテートしてくれた(上記参照)。当院麻酔科は担当する症例も多く、短期間でいろいろな経験を積むことが出来ると思う。しかし、研修医に麻酔学の理論的背景も十分に伝えられているか反省すべきこともある。

今後の課題として、ハイブリッド手術室が病院1階に新設され、これを有効活用してさらなる症例数の増加をはかりたい。また、術後鎮痛への関与など周術期を意識した診療の展開もしてみたい。若くて常識のある麻酔科医の新規参入を求める。

2019年度 麻酔法別症例数

麻酔法	全身麻酔	全麻+硬麻等	硬 麻	硬麻+脊麻	脊 麻	伝達麻酔	静脈麻酔等
症例数	824	1385	1	125	401	236	93

2019年度 診療科別症例数

診療科	整形	外科	産婦	泌尿	形成	心外	眼	腎内	歯科	脳外	耳鼻	その他	総計
手術数	1299	670	613	402	313	275	99	82	49	45	20	9	3876